

2-2-9 第9分科会「秋田のイネ新品種「ゆめおぼこ」誕生物語」

担当者 寺井謙次 受講学生 6名

活動概要： 今年度から本格栽培が始まった、秋田で育成されたイネ新品種「ゆめおぼこ」に注目し、育成の背景や誕生の経緯を探りました。その過程で、秋田県の稲作事情や稲育種の今後の課題等についても調べました。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 自分は秋田県出身だけど、いつも食べているお米はあきたこまちばかりで、ゆめおぼこについては名前を聞いたことさえなかった。ゆめおぼこという品種がどういう目的で作られたのかということを知りたい。（11月4日の感想より）
- 日本を代表する稲の品種、その特性や生まれた背景などについて大まかに学んだ。パワーポイントの発表資料についても少しイメージが持てた。（11月11日の感想より）
- 1穂の籾数・稔実籾数・不稔実籾数・稔実歩合・玄米千粒重を求めた。たった1本の穂でも、時間がかかり大変な作業だった。農家の方の大変さを身に染みて感じた。（11月18日の感想より）
- 自分が小学校の時には、特別活動の中で少しは稲作について学んだ記憶がある。しかし改めて調べてみると、知らないことだらけで驚いた。毎日食べている米に関して自分は何も知らないのであると改めて思った。（12月2日の感想より）
- 分科会のメンバーが作ってきたスライドを合わせて、全体発表用のパワーポイントが完成した。その後、通しでの発表練習を行った。初めての割にはスムーズにいったよかった。本番もこの調子で頑張りたい。（1月20日の感想より）